ATC Tires Pvt. Ltd. Tirunelveli Plant CSRレポート

事業内容: 農林・建設・工業・OTRタイヤの製造
敷地面積: 47.04ヘクタール
従業員数: 2,241名（2017年12月、契約労働者を含む）
所 在 地: Sipcot SEZ, A-2, Sipcot Industrial Growth Centre, Gangaikondan, Dist. Tirunelveli, Tamil Nadu – 627 352, India
製　　造: Tel: +91-46-2398-7312 / 3987314
事 務 所: Plot No. 53 & 27-C, 2nd Floor, Empire Complex, Senapati Bapat Marg, Lower Parel, Mumbai – 400 013.

相談・苦情などの受付窓口:
Human Resources and Administration Dept
Tel: +91-46-2398-7312 | Fax: +91-46-2398-7399

工場長ご挨拶

PN Rajendran

- 私たちは、環境と労働安全衛生（EHS）を最優先とした高い基準を設定して、持続的に安心な性能を達成するための文化を構築することに注力しています。
- 非常に費用対効果の高い品質のタイヤを全範囲で生産し、世界中のお客さまから高い評価を得ています。
- 新しい製品の開発時間を大幅に短縮することで、新たな売上と利益の源泉として新製品を提供します。
- 全ての従業員参加（TEI）型のCSRプログラムを効果的なものとするために、全従業員による「継続的改善プログラム」（CMP）を実施することで、全ての改善目標の解決へ大きな推進力を与えます。
- 地元の法律や法令を順守して事業を行うことを約束します。
- YRCの経験と専門知識を引き続き活用するため、YRCマネジメントチームの積極的な協力と支援を得て、YRC製造現場のベストプラクティスを積極的に学んで採用し、製造工程と製品のパフォーマンスを強化します。

組織統治

行動規範

当社は、ATCのコアバリューに沿って、価値創造を重視した適正な事業活動を展開していきます。その上で組織目標を達成するため、事業を運営しながら、優れたコーポレートガバナンスに尽力します。

この方針は、適用法令の順守、株主への責任など、さまざまな分野を網羅しています。

SOA (Schedule of Authority)

2014年7月に発行し、2017年5月と2018年1月に改正されたSOAにより、当組織におけるさまざまな決定の権限を明確にしています。
私たちは、オンライン法令順守ツール（Legatrix）を使って、コンプライアンスの仕組みが正しく機能するため、監視・推進を行っています。

組織体制と標準作業手順書（SOP）

会社の報告体制をよりよくしていくため、四半期ごとに組織体制を見直しています。
そして、各部門には、一貫した製品品質の維持を保証するためのSOP（Standard Operating Procedures）があります。

従業員ハンドブック

従業員に関する全ての関連方針を示した「従業員ハンドブック」は、2016年11月に公開され、2017年7月27日と2018年1月10日に改正されました。会社の方針と手順の概要と利点を当社で働く全ての従業員に周知しています。

モバイル利用

モバイルハンドセット/モバイル接続ポリシーを、2017年10月4日にハンドブックに掲載しました。

内部通報（Whistle Blower）

当社の内部告発の方針では、非倫理的な慣行から社員を守るだけでなく、真の懸念や苦情を報告する「Vigilな仕組み」を提供することを規定しています。
そして、当社の事業の原則および慣行に関する告発は、2013年会社法および2014年会社規則の第177（9）および（10）項に規定された公正かつ偏見のない方法で対処されます。
全てのポリシーは、社内コミュニケーションサーバーであるイントラネットポータルに表示され、全ての従業員に周知されます。

人権

セクシャルハラスメントの防止

私たちには、「ATC India Pvtの努力のたまもの」と言える「セクシャルハラスメントの防止に関する方針」があります。これは、セクシャルハラスメント、脅迫、搾取のない職場を提供することを目的としています。この方針の目的は、定義されている職場の全ての従業員に対するセクシャルハラスメントの苦情の防止と救済、およびそれに関連する問題からの保護を行うことです。
そのため本方針に沿って、従業員全員の意識啓発のため、職場でのセクシュアルハラスメント防止に関する研修を実施しています。
また、内部苦情委員会は以下を担当しています。
○全ての正式な性的嫌がらせの苦情を調査する
○性的嫌がらせの申し立てに対応するための適切な是正措置を講じる
○雇用関連の性的嫌がらせを抑止し、防止する

当社の以下の企業価値は、当社が全ての事業活動において正しいアプローチを取っていることを保証します。
誠実さ：全てのステークホルダーに対して公正であり、常に正当性を持って行動します。
説明責任：私たちの全ての行動や、私たちが責任を負っていること全てに必要です。
当社の行動基準では、差別や嫌がらせの防止に関して、次のように定めています。
従業員一人一人が、人種、性別、国籍、年齢、宗教、性的指向、遺伝情報、性的嗜好、障害、その他の法によって守られた地位や特徴などによって差別や嫌がらせを受けることなく、自分の能力を最大限に発揮できる職場環境を維持します。

労働慣行

品質、環境、労働安全衛生（QEHS）方針

OTR（オフロードタイヤ）の製造に携わる当社は、関係のある全ての人々やビジネスのために、製品品質、健康と安全、環境保全を創造、維持、保証します。それは私たちの計画と意思決定には不可欠であり、以下の項目を規定しています。

- 私たちの顧客、人、環境を尊重し、ケアしながら事業を行う。
- 顧客の要求に応じて製品を製造し、提供することにより、顧客満足を達成する。
- 製品の品質に関連する要件を満たす。
- 会社の全てのステークホルダーの職場の健康と安全を確保する。
- 環境側面および労働安全衛生上の危険に関連する法令順守義務を果たす。

そのため、私たちは、以下の項目を達成します。
- 再利用などによる資源の有効利用と公害防止による環境保護、新技術の導入によるプロセス排出の管理。
- 労働安全衛生上の災害による怪我や病気の予防のため、すべての従業員を適切なシステムとプロセスに関与させる。
- さまざまなフォーラムを通して、すべてのステークホルダーとの品質、健康、安全および環境パフォーマンスに関する対話を促進する。
- 事業活動における生物多様性の保全。
- 統合管理システムの有効性とそのパフォーマンスを継続的に改善する。
- 私たちは、この方針をステークホルダーに公開する。

Safety Week

行動規範

当社は、全ての地域で安全で健康的な職場環境を提供することに努めます。

各職場は、適用されるすべての地方、州および国の安全衛生要件に従って運営され、違法薬物、アルコール、物質の影響を受けないようにする必要があります。各従業員は、適用法とこの行動規範を順守することによって、安全で健康的な職場の維持を支援する責任があります。
それとは別に、全ての従業員に安全＆緊急処置ハンドブックを開発し、配布しました。来訪者用安全説明書も準備し、工場の訪問者に渡しています。

社会保障・健康保険

当社には、PF、ESIC、退職金および団体障害保険などの社会保障および医療/傷害保険の給付があります。
シニアレベルのリソースで、安全衛生活動を監督・保証しています。

団体交渉賃金協定

労働組合と2017年10月11日に団体交渉の署名行いました。賃金協定LTS（Long Term Settlement）として、労働の賃金、効率性、アウトプット、福利厚生および賞与が締結されました。

労働慣行

フェスティバルの祝典

8月15日（独立記念日）と1月26日（共和国の日）、国家安全週間、世界環境デー、Holi、Diwali、Pongal&Ayutha Poojaのようなインドの祭典を祝います。すべての従業員が一緒に祝賀会に参加し、従業員のチーム構築とモチベーションを高めます。

Ayudha Pooja

Birthday & Festival Celebration

2017年8月18日、植物生態学の第一人者である横浜国立大学名誉教授の藤原先生と当社会長の野地が出席して、第1回千年の杜植樹会を行いました。スタッフとスクールの子どもたちは、プログラムのためにボランティアを行いました。

Forever Forest

トレーニング

当社は、従業員やビジネスのニーズに応じた従業員の行動、一般および技術に関するトレーニングを実施します。

- 2017年は15種の1日研修プログラム（内外の教員と一緒に）に対して年間のトレーニング計画を立て、全て完了しました。
- トレーニング計画は、工場の全てのチームを網羅する安全、環境、品質、行動および技術に関するトレーニングプログラムで構成されています。
- 職場の整理・整頓、PC操作（MS Excel）、製品の欠陥やトラブル解決の方法など、さまざまな課題を網羅した社内プログラムを約250名のスタッフと現場従業員に提供しました。
- 2017年の研修時間は以下の通り
  スタッフ — 21.08hr/人
  現場従業員 — 14.72hr/人

Training

この他に、下記の取り組みがあります。

- 死亡した従業員の弔慰訪問
- 当社工場の従業員に食堂施設を提供しています。
- 全ての従業員に全てのシフトで交通機関（バス）が提供されます。
- 毎月、5S監査を実施しています。5Sプログラムは工場全体で行われ、31のゾーンが特定されました。
- Kaizenコーナーは、2016年12月14日に開始されました。安全、環境、品質、配送、コストに対する個別課題の継続的改善活動や従業員の意識（士気の高さなど）が表されています。2017年11月以降、改善活動を行った全ての従業員への感謝とその意欲に対して認定証が与えられています。

環境

ISO14001登録証

環境データ

項　目		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
廃棄物発生量（t）		—	—	—	106	134
エネルギー消費量	石炭消費量（kt）	—	—	—	26,838	35,171
	電力消費量（Mwh）	—	—	—	41,413	43,400
水消費量（千m^3）		—	—	—	325	333

※年度：1月～12月
※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2015年度以降は、海外拠点の算定では、GHGプロトコルを使用しました。

2017年12月、2018年1月にバイオガスプラント（処理能力250kg/日）が建設されました。90～110kgの食堂の食品廃棄物や残った野菜クズでバイオガスを発生させます。生成されたバイオガスは食堂のバイオガスレンジで燃料として使用しています。

私たちは工場内での植樹活動を始めました。藤原先生の指導の元、2017年8月18日に第1回千年の杜植樹会で117mの範囲に約4,927種の種苗を植えました。植林は「宮脇方式」に従いました。その後、毎月500本の苗を植えています。

Environment Week

公正な事業慣行

公正な競争と取引を規定した行動規範

タイヤ事業は競争力が求められる産業です。しかし、当社は公正な競争と取引に関する業務を完全な形で遂行することを約束しています。全ての従業員は、自分自身が倫理的に行動し、正直にコミュニケーションを取ります。同僚、会社経営者、顧客、サプライヤー、コンサルタント、政府機関の役人（国内外）とも公正に対処します。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

社会貢献活動

以下の活動を行っています。

・女性就業支援プログラム—第1期に引き続き、生活習慣の向上と女性起業家の育成を目的として、地域社会女性に無料の裁縫コース（第2期）を開催しました。

・地元の村の一般公衆トイレの建設。

・現地の公立小学校が要望したステージの建設、家具や水用タンクと浄水器の提供。

家具

浄水器

・大学生と一緒に地元の近郊の村で苗木の植樹に参加。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

・公立小学校の壁や洗面所の建設と改築、スマートクラスのためのスポーツ器具・コンピュータの寄付

・地方政府の人材育成プログラム（Swachh Bharat Mission）として村への家屋型訓練所（Individual House Holdrines（IHHL's））の建設。